

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

令和元年度(2019年度) 事業報告

(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

1. 市民活動を支援する施設の管理運営事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 平成31年4月1日より令和2年3月31日・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 20名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 26,205,198円

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

内 容 茅ヶ崎南西部地区の新しいまちづくりの拠点においてエリアマネージメントをテーマに活動する「NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎(以下、「まちスポ」という)」と連携、交流を進め、互いに情報交換を行うことにより相互の組織運営力及び信頼度を高める。
日 時 平成31年4月1日より令和2年3月31日・通年
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員 6名
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額 16,612円

(2) おでかけ支援

内 容 湘南地区の交通空白地の解決に向けて、暮らしの足を地域で支える「おでかけワゴン」を走らせよう！乗り合い交通プロジェクトが始まった。運転、添乗、運行管理も地域住民のボランティアによる自主運行を、「まちスポ」と「当法人」が事務局機能を果たしながらサポートした。また、社会福祉法人の車両の借用を仲介し、担い手育成の勉強会や研修の企画・運営を行った。
日 時 平成31年4月1日より令和2年3月31日・通年
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、コミュニティセンター湘南、茅ヶ崎市南西部エリア他
従事者人員 6名
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額 257,898円

(3) コミュニティ・コンシェルジュ

内 容 「ジオ茅ヶ崎フレッシュ」クリスマスイベント実施の後方支援
日 時 令和元年12月22日(日)
場 所 ジオ茅ヶ崎フレッシュ・マンションギャラリー他
従事者人員 3名
受益対象者 茅ヶ崎地区周辺で活動する市民活動団体及び一般市民

支 出 額 16,206 円

(4)余暇支援ネットワーク

内 容 茅ヶ崎・寒川地区の障がいのある人々の余暇活動を地域で支援するネットワークメンバーとして人をつなぎ、地域で楽しむ音楽祭に協力した。

日 時 令和元年5月～10月、10月19日(土)

場 所 茅ヶ崎市社会福祉協議会、神奈川県立茅ヶ崎養護学校他

従事者人員 1名

受益対象者 福祉関係者及び一般市民

支 出 額 16,000 円

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業とNPOのマッチング

今年度は特に実施しなかった。

(2) 企業×NPO子ども支援交流会

内 容 子どもたちが大切にされ安心して育つように地域ぐるみで子どもたちを支える環境をつくるために、企業、子ども支援団体、地縁団体、行政が企業等とつながりを深め、学び合い、セクターを越えたネットワークを広げる「企業×NPO子ども交流会」を開催する。※新型コロナウイルス感染予防対策のため開催中止

日 時 令和元年12月～令和2年3月、2月28日(金)

場 所 茅ヶ崎市役所分庁舎コミュニティホール、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員 12名

受益対象者 県域及び市内の企業、大学関係者及び一般市民

支 出 額 144,628 円

(3) 食から未来へ勉強会

内 容 [地域の野菜・果樹の力を知ろう] 地域農産品について基礎から勉強することを通じて新しいネットワーク及び人材の発掘を行った。

日 時 平成31年4月～令和2年3月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

従事者人員 4名

受益対象者 市内の企業、大学関係者及び一般市民

支 出 額 28,732 円

(4) 農福商等連携・ネットワーク事業

内 容 地域課題の解決に向けて、農業、福祉、商業等の連携に関心のある市民を対象に異業種楽習会を開催し、アートを介した顔の見える関係づくりを行った。

日 時 平成31年4月～令和2年3月、10月10日(木)

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター及び翔の会研修センター

従事者人員 1名

受益対象者 市内の企業、福祉関係団体、大学関係者及び一般市民
支 出 額 28,189 円

4. 市民活動に関する調査研究事業

実施しなかった。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

実施しなかった。

なお、事業 1 の詳細は【別紙】 P4～P22、事業 2～3 までの詳細は P23～P27 に記載する。

【別紙】

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

総括

指定管理期間 3 年目の今年度は、市民立太陽光発電所「れんこちゃん 1 号」10 周年記念事業を軸に、多様な協働の実践に取り組んだ。7 月から 9 月は「サポセンエコ月間」と称し、市民活動団体との共催イベント開催やホームページの「エコな取り組み」情報発信などを通して、市民の環境配慮の行動を推進した。また 12 月には NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークにより蓄電池が設置され、夜間電力削減による経費削減や災害時非常用電源の確保も期待されることとなった。これらの実践が評価され、他の組織の模範となる指定管理者を対象に表彰される「茅ヶ崎市エコ管理賞」を受賞するに至った。

市民活動推進のための事業においては、特に「地域の居場所づくり交流会」が地域の人々のエンパワメントを高めることにつながった。参加者は居場所事業を行っている団体のみならず、居場所づくりに関心のある市民や行政職員、福祉関係者など幅広く、終了後には、茅ヶ崎版「(仮称)居場所づくり運営者等ネットワーク」立ち上げ機運が高まり、サポセンとして後押ししていくこととなった。

年度末は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。感染まん延防止のために、2 月末から 3 月にかけて予定していたイベントが中止となり、また、3 月 2 日から 31 日までが臨時休館となった。そのような状況のもと、年間利用者数は 21,106 人と前年度比 87%、印刷機利用が前年度比 84%に落ち込んだ一方、ホームページの年間閲覧数は 71,384 件(Google 統計、1カ月間の訪問者総数計)で前年比 126%となり、インターネットを通してサポセンを利用していただく機会が増えている。

地域や社会の課題解決に向けては、SNS を活用したプロジェクト的な活動、団体ではなく個人での活動など、市民活動の形態も変化しつつある。引き続き、地域の人と人をつなぐ情報発信の強化に努めるとともに、今後、感染予防のために物理的な距離を保たなければならない社会では、サポセンという「建物」を活用した場の提供にとどまらず、「オンライン」交流事業などにも積極的に取り組んでゆきたい。

1. 施設の運営に関する業務

(1)ロッカーの使用の承認、取消し等に関する業務、利用料金の徴収、還付に関する業務

事務所を持たない NPO に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出。

63 団体(大:18 団体、小:45 団体)稼働率 92%

(2)作業コーナーの管理運営に関する業務

パソコン、レーザープリンタ、コピー機、印刷機 2 台、紙折り機、丁合機等、機器類のメンテナンス、消耗品の管理を実施した。また、機器類の使い方指導やトラブル対応など、利用者へのサポートを行なった。

貸出パソコンについては IT スタッフによる定期メンテナンスを行った。

(3)ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民活動団体への郵便物・物資・情報等の仲介をした。129 件。

(4)職員体制に関する業務

グループウェア「サイボウズ Office」と「メールワイズ」を活用し日常業務の報告や連絡・伝達を行い、スタッフ間の情報共有を図ることができた。急な対応が必要な場合は LINE を活用し、迅速な情報伝達を図った。また毎月スタッフ会議と第 3 水曜日(休館日)スタッフ勉強会を実施し、市からの報告事項や主催事業の進捗状況の確認、企画の検討、施設運営の課題等について話し合いを行った。

勉強会では、公共施設の運営の在り方、市民活動の現況把握、市民活動支援・推進事業やサポセンの在り方等の学びとワークショップ(ダイヤモンド・ランキング)、ファシリテーション研修他、今年度の主催事業・イベント実施に向けて企画検討や業務の詳細打合せを行った。その他、危機管理対応として、普通救命講習会、防災訓練、新型コロナウイルス感染症の対策検討を行った。

新人職員に対しては OJT を中心とした研修、その他すべての職員に対し、主催事業(NPO 講座など)や外部研修への積極的な参加を推奨し、スキルアップを図った。

開催日	概要	参加人数
9月9日(月)	ボランティア活動支援施設スタッフセミナー@かながわ県民センター	5名
10月9日(水)	LINE WORKS 講習会@藤沢市市民活動推進センター	2名
11月29日(金)	暴力団排除及び不当要求行為等対策研修会@市役所	1名
12月23日(月)	地域コミュニティ勉強会@翔の会研修室	9名
2月21日(金)	認定 NPO 法人の義務・報告書類セミナー@東京ボランティア・市民活動センター	2名

(5)その他

サポセン内のコーヒー常設スタンド

市民活動団体「サンチャイ ねばるば」がスタンドを常設。コーヒー1杯につきお米 1kgをネパールに寄付する活動を行っており、サポセン館内では 239 kg分の協力があった。

パソコン等なんでも相談

4R(Reuse Reduce Recycle Repair)で地球環境保全維持を目指して活動している小関氏による「パソコン、オーディオ、動くおもちゃ なんでも相談」が館内で4月～翌2月の11か月間、毎週月・火の9:30～15:30、年87回開設され、のべ70名の利用者があった。パソコンやオーディオ製品のほかに、小型扇風機など家電修理も無料(部品代は実費)で対応。物を大切に修理し再利用することで資源の節約や環境を守ることにつながることから、サポセンの「エコ月間」にもご協力いただいた。

2. 広報に関する業務

(1)施設の周知啓発に関する業務

ア. ホームページ・SNSの作成及び管理運営

- ・(株)ボンドとは毎月ミーティングを行い、コンテンツの追加やデザインなどを検討しつつ、センターで変更できない部分を追加修正して頂いている。
- ・イベント・助成金等の情報アップや、主催事業の開催告知、報告、お知らせなど通常の情報更新はスタッフにより随時作業を行った。2020年3月末までに、団体イベント1,025件、助成金等52件、主催事業告知・報告62件の情報を提供。
- ・Twitter、Facebookではサポセン最新情報を提供。2020年4月15日現在のTwitterフォロワー数325、Facebookフォロワー数943と、昨年度比Twitter114%、Facebook104%と増加している。
- ・昨年開設したFacebookグループ「ちがさき市民応援団」は登録メンバーが現在46名となり、各自がイベント情報などを発信し交流を深めている。

イ. サポートセンター情報紙の発行

- ・「ニューズレター」を年6回(各号1,800部)発行。
- ・市内公共施設ならびに館内配架の他、市民活動団体データベース登録団体、近隣自治体のボランティア支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布、ホームページに掲載。サポセンの取組みを紹介する資料として活用した。

	発行	内容
vol.65	5月	6・7月主催イベント告知、2019年度サポセンイベント・プログラムスケジュール、館内紹介(図書コーナーなど)、お知らせ(令和元年度実施 市民活動げんき基金補助事業決定など)
特集号	5月	こどたん 2019 特集号
vol.66	7月	7・8・9月主催イベント告知、サポセンエコ月間紹介、事業報告(よるカフェ「iPad講座」、市民活動交流カフェ)、お知らせ(印刷・作業コーナーの利用に関するアンケート報告など)
vol.67	9月	10・11月主催イベント告知、事業報告(ようこそのはた in ちがさきサポセン、みんなでソーラークッキングを楽しもう!、カンボジアに鉛筆を届けます、ユースボランティア 2019)、お知らせ(新着図書、令和2年実施 市民活動げんき基金補助事業の募集、消費税率変更に伴う料金改定、市民ふれあいまつり出展など)
vol.68	11月	11・12・1・2月主催イベント告知、事業報告(意見交換会、ボランティア塾、NPO 講座「市民活動、はじめの一步」)、お知らせ(事例紹介～なんとかしたい その思いをカタチへ、げんき基金へ寄付など)
vol.69	1月	3月主催イベント告知、事業報告(市民活動交流カフェ、NPO 講座「市民活動、会計業務のイロハ」、カンボジアえんぴつ寄付報告&交流会)、お知らせ(NPO 講座「確実に一步踏み出す情報発信のコツ」、企業×NPO 子ども支援交流会など)
vol.70	3月	5月主催イベント告知、サポセン、ここが便利(施設編)、事業報告(こどたん 2020 実施に向けた道のり、居場所づくり交流会Ⅳ、NPO 講座「確実に一步踏み出す情報発信のコツ」)、お知らせ(蓄電池設置、窓口カウンターの紹介、IT スタッフ卒業コメントなど)

ウ. サポセン・市民活動のPR

- ・「春の市民まつり」「秋のふれあいまつり」に参加し、子ども向けクラフトやクイズなどを通してサポセンPRを行った。
- ・印刷料金改定に伴い三つ折りパンフレットを修正。
- ・「タウンニュース茅ヶ崎版」など地域メディアにサポセン主催事業の情報を提供し掲載された。
- ・サポセンのイメージキャラクター「さぼちゃん」画像のバリエーションを増やし広報に活用した。

(2) 市民活動団体の広報支援に関する業務

ア. 市民活動団体データベースの作成及び管理、それを基としたガイドブックの編集及び発行

ホームページへの情報掲載

サポセンが管理する市民活動団体データベースには、ガイドブック掲載団体の他にも施設設備(ロッカー・レターケース)の利用団体も含まれており、市との定期連絡会にて毎月施設利用統計に登録団体数・新規登録数・登録削除数・ガイドブック掲載団体数を報告した。

- ・本年度は、**新規登録 20 団体、取消 15 団体**、設備利用団体を含む**全登録数は 373 団体**となった。

登録・取消の団体数は昨年度より少なく、高齢化で活動を維持できずに解散する団体が増えてきた。半面、若い子育て世代や年齢を問わない居場所づくり等の活動団体が増加してきている。また、げんき基金補助事業への申請をきっかけに新規登録する団体が多かった。

- ・4月下旬に登録団体を対象に、団体情報の更新案内を送付。同時に団体の外部への情報発信や内部での情報共有についてのアンケートを実施。集計結果は今後の団体支援の検討材料とし、NPO講座等企画の参考とした。
- ・本年度はガイドブック冊子の発行なし。不足が出た公共施設や紙面希望者へ、2018年度作成の冊子を配布して残数は6部。市民の多くが、気軽にWEB版を閲覧できる環境を持つようになったことを実感した。
- ・年間を通じ、市民活動団体データベースの新規・変更を随時受付更新し、サポセンHP掲載のガイドブックWEB版に片影させて最新の団体情報を市民に提供できるように努めた。

イ. 広報ちがさき「市民の活動だより」への掲載仲介

- ・広報ちがさき「市民の活動だより」へデータベース登録団体より毎月紹介し通算11団体を掲載。

ウ. FM 広報番組「はまかぜ ちがさき」への情報提供

- ・レディオ湘南「はまかぜちがさき」内で、市民活動団体のイベントを20件紹介。

2. エ. 情報(掲示物)コーナーにおける市民活動団体の掲示物の受付・掲示・管理、団体への情報提供

- ・データベース登録団体の機関紙やイベントチラシを中心に、市民活動に関するイベントや運営に役立つ講座、各種ボランティア講座、助成金情報などを整理して見やすく掲示。
- ・個別メモリーファイルの無い団体を分野ごとのまとめファイルとして、把握しやすいよう整理した。
- ・広報ちがさきはじめ市主催のイベント、市民公募、パブリックコメント他刊行物、公共施設や他地区支援センターの広報紙やイベントチラシ等も手に取りやすいように平机とラックを活用して掲示。
- ・神奈川新聞やタウンニュースなど地域紙で掲載された、市民活動や市に関する記事を切り抜きについては、曜日ごとに掲示した。(市民活動団体の年間メディア掲載件数:101件)
- ・サポセン発行物・市関連のまとめコーナーなど初めて来館の利用者視点でわかりやすく工夫した。

館内掲示物の内訳

イベント・講座	広報紙 機関紙	会員・ボラン ティア募集	補助金・ 助成金	地域紙	その他	合計
1,025 件	542 件	50 件	62 件	225 件	202 件	2,106 件 (前年比 101%)

- ・データベース登録団体への情報提供については、ニューズレターやイベント案内など、奇数月10日ごろにゆうメールにて送付したことに加え、メール登録のある団体には、同様の内容をメールでも送信した。

3. 市民活動の支援及び市民活動推進に関する業務

(1). 市民活動に関する相談並びに連絡調整に関する業務

毎月1回(第2月曜日)、法人代表理事による特別相談日を設けて対応した。

- ・げんき基金補助事業については、今年度実施団体から広報の仕方や事業の進め方、備品の借用等に関する相談があった。次年度事業に応募を検討している団体からは、事業計画書の書き方や予算の組み方など、直接面談やメール等でやり取りし、申請書の提出まで、市民自治推進課とも情報共有しながら丁寧に対応した。
- ・協働推進事業を経て市からの委託事業を実施している団体からは予算や委託内容に関する相談が寄せられ、市との話し合いに同行するなど、年間通して伴奏支援を行った。
- ・その他市民活動団体からは、組織の立ち上げ方(NPO 法人・一般社団法人設立手続きなど)や規約の作り方、民間助成金申請にあたって推薦コメント依頼、活動の広げ方や周知方法、活動場所、会員・ボランティア人材の確保など、様々な内容の相談があった。

- ・個人では若い世代からの意欲的な相談が目立った。かつて「ユースボランティア茅ヶ崎」に参加した大学生から自身の障がい者雇用研究に関するインタビューを仲介してほしいという相談、文教大学のボランティア紹介イベントで知り合った大学生から台風被災地へ支援に行きたいという相談、社会人からデザイナーとしての仕事を市民活動に役立てたいという相談など。
- ・行政からは市の事業(うみかぜテラスの協働推進事業、「茅ヶ崎市子ども未来応援基金」、WEB サイト「茅ヶ崎ライフスタイル」など)の進め方や連携に関する相談、市民活動団体についての詳細問合せを受けた。
- ・その他、居場所づくり関連、企業等からの不用品(余剰在庫や災害備蓄入れ替え分)の有効活用仲介、動物保護団体の紹介などが目立った。
- ・新型コロナウイルスの影響で3月に臨時休館した際は、特に印刷機の利用に関する問合せや再開を望む意見が多数寄せられた。

相談・問合せの内容

カテゴリ	利用者の声	問合せ	相談	計
ア.施設・備品の利用	30件	94件	2件	126件
イ.サポセン主催事業	11件	30件	3件	44件
ウ.市の施策(協働推進事業・げんき基金)	4件	6件	14件	24件
エ.ボランティア・市民活動	4件	41件	16件	61件
オ.団体の運営(法人設立・組織運営)	2件	2件	5件	9件
カ.団体の運営(活動資金・助成金)	2件	1件	5件	8件
キ.団体の運営(活動場所)	0件	0件	7件	7件
ク.団体の運営(ボランティア募集・人材確保)	1件	4件	1件	6件
ケ.団体の運営(広報)	5件	10件	5件	20件
コ.団体の運営(活動内容・事業企画)	1件	6件	14件	21件
サ.団体の運営(会計・税務・労務・)	0件	0件	0件	0件
シ.団体の運営(その他)	3件	5件	8件	16件
ス.地域資源・情報のコーディネート	5件	12件	10件	27件
セ.行政・企業・大学・他団体等との連携・協働	1件	2件	5件	8件
ソ.その他	17件	60件	16件	93件
合計	86件	※273件	111件	470件

※新型コロナウイルス感染症まん延防止の為、3/2～3/31の間は臨時休館した。
休館中の市民からの電話・メール等による問合せ 202件を含めると、問合せ合計は 472件となる。

相談者の内訳

所属区分	利用者の声	問合せ	相談	計
市民活動団体	39件	72件	32件	143件
特定非営利活動法人(NPO法人)	4件	8件	14件	26件
公益法人・非営利法人	3件	4件	9件	16件
行政	1件	21件	7件	29件
企業	4件	14件	5件	23件
学校	3件	3件	8件	14件

地縁団体(自治会など)	3件	10件	1件	14件
福祉関連機関	2件	7件	6件	15件
その他	1件	12件	6件	19件
個人	25件	119件	21件	165件

(2) 市民活動推進のための事業の実施に関する業務

ア. 市民活動推進及び市民活動団体育成のための講演会、講座等の実施(年4回以上)

(ア) NPO 講座の実施

市民活動団体のニーズが高い市民活動のノウハウについて2講座と、情報発信のやり方についての連続2講座の計4つの講座を開催した。

開催日	概要	参加人数
10月26日(土)	市民活動、はじめの一步 地域や社会の課題解決のために自分ができること、団体づくりや組織運営の基本について解説。 講師:野木瑞恵氏(厚木市学生ボランティア団体「ぼくら」書記、文教大学国際学部国際理解学科1年) 益永律子氏(認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき 代表理事)	14名
11月26日(金)	市民活動、会計業務のイロハ 助成金や補助金申請の際に役立つ事業予算の立て方、報告時の会計処理方法など一連の会計業務について解説。 講師:本郷順子氏(NPO 法人税理士による公益活動サポートセンター 理事)	24名
1月29日(水) 2月12日(水)	”なんとなく” はもうやめる 確実に一步踏み出す情報発信のコツ 1回目は、情報発信の手段に関する一般的な知識や現状と、それぞれの団体の目的に合わせたツールとその効果について解説。 2回目は、発信した情報をそのままにするのではなく、どのような効果があったのかを振り返ること、また市民活動団体は特に、団体内で目的や目標・手法などを情報共有することの重要性について解説。 講師:市川ヤスヒロ氏(株式会社ボンド 代表取締役/デザイナー)	1回目: 27名 2回目: 25名

イ. 市民活動団体の交流のためのイベントの実施(年1回以上)

(ア) 地域の居場所づくり交流会の実施

地域の居場所づくりに関心のある市民、居場所づくりを支援する立場にある自治体職員・福祉関係者等を対象に、市内外の様々なタイプの居場所の事例を紹介しながら、居場所運営の現状とノウハウ(課題含む)を学ぶ機会を提供した。

開催日	概要	参加人数
11月10日(土)	地域の居場所づくり交流会Ⅳ ・市内3つの居場所事例の発表 ・講演:西川正氏((特非)ハンズオン埼玉常務理事) ・グループワーク(ワールドカフェ)・2ラウンド ・全体会(グループから主な話題の報告)	40名

	<p>○講師・事例発表者</p> <p>講師: 西川正氏 ((特非) ハンズオン埼玉常務理事)</p> <p>事例発表者: 森下晋さん・神谷マミさん (みんなの居場所)、竹内あき子さん ((特非) ワーコレたんぼぼひろば)、山本雅子さん (南湖みんなでやんべえよ会・和輪話)</p>	
--	---	--

(イ)「こどもたいけん☆ワイワイまつり」の実施

昨年度より略称「こどたん」として開催、こどもから大人まで誰もが楽しめるモノづくり体験やボランティア体験などを楽しみ、自分の暮らすまちをより深く知ってもらうことを目的としたおまつり。前回会場の総合体育館は Toukyo2020 オリンピック開催に向け、施設の予約ができない状態のため 6 月から開催場所を検討。2019 年1月にオープンした茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスでの開催を、うみかぜテラス側と市民自治推進課同席のもと調整のうえ決定した。初めての会場利用のため、うみかぜテラス側とは6月から1月にかけて複数にわたり、参加企画について直接交渉・調整を行った。参加団体・来場者には、特に環境・エコに配慮した呼びかけをチラシに掲載した。参加 39 団体からの企画内容確認書類の提出を受け、2月上旬に会場レイアウトや当日配布パンフレットの作成を開始。広報では広報ちがさきへの掲載依頼、小学校での前項配布依頼、各地域メディア(紙面・WEB)への掲載依頼、自治会回覧の依頼と近隣自治会長への挨拶を行った。2/21 に新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、来場者および参加団体の健康と安全に配慮し、開催中止を決断した。それに伴い、関連各所への中止連絡や HP 等での市民へのお知らせを速やかに行った。3月には次年度開催に向けた内部での話し合いを持った。

開催日	概要	参加人数
11月15日(金) 16日(土)	募集要項&参加申込書配布開始 (申込〆切 12/16(金)) キックオフ交流会 11/9(金)18:00~20:00、11/11(日)10:00~12:00 開催	41名
1月25日(土)	場所&プログラム作戦会議 10:00~12:00	37名
3月29日(日)	こどたん 2019 開催中止を決定 2/21(金)うみかぜテラス、参加・協力団体等の各所へ中止連絡を行う サポセン HP に開催中止を掲載	参加・協力 48団体 (初参加 5団体)

ウ. 市民活動ネットワーク会議に関する業務

(ア) 市民活動ネットワーク会議への出席

近隣支援センターや関連機関との情報交換などから日常的な支援に役立てることができた。

開催日	概要	参加人数
4月23日(火)	平塚市市民活動推進委員会(平成31年度第1回)@ひらつか市民活動センター	1名
5月18日(土)	平塚市協働事業審査会 平成30年度実施事業報告会@ひらつか市民活動センター	1名
5月29日(水)	パルシステム市民活動応援プログラム報告・交流会@横浜ラジオ日本クリエイト	2名
5月29日(水)	「県内中間支援組織との協働によるプロボノ・プラットフォーム展開事業」 中間支援組織向けプロボノ・アカデミー3 連続講座第1回@かながわ県民活動サポートセンター	1名

6月8日(土)	平塚市協働事業審査会 令和2年度実施事業意見交換会	1名
6月16日(日)	「プロボノチャレンジ KANAGAWA 2019」説明会@チガラボ	1名
7月16日(火)	平塚市市民活動推進委員会(令和元年度第2回)@ひらつか市民活動センター	1名
7月29日(月)	ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング@かながわ県民活動サポートセンター	2名
8月22日(木)	中間支援組織向けプロボノ・アカデミー3 連続講座第2回@かながわ県民活動サポートセンター	1名
9月7日(土)	ちがさき環境ワークショップ@市役所本庁舎会議室	1名
9月13日(金)	平塚市協働事業審査会 令和元年度事業中間ヒアリング@ひらつか市民活動センター	1名
9月14日(土)	プロボノチャレンジ神奈川 2019 キックオフミーティング@YCC 横浜創造都市センター	1名
10月5日(土)	平塚市協働事業審査会 令和2年度実施提案型協働事業公開プレゼンテーション&審査会@ひらつか市民活動センター	1名
10月23日(水)	平塚市協働事業審査会 令和2年度実施提案型協働事業 事業化説明会@ひらつか市民活動センター	1名
11月12日(火)	平塚市市民活動推進委員会(令和元年度第3回)@ひらつか市民活動センター	1名
12月2日(月)	イーパーツ活動報告会@東京電機大学	2名
12月3日(火)	災害時における三者連携・協働に向けた研修会@かながわ県民センター	2名
2月8日(土)	平塚市まちづくり事例表彰式@ひらつか市民活動センター	1名
2月26日(水)	ボランティア活動支援施設CEOミーティング@藤沢合同庁舎	中止
3月4日(水)	中間支援組織向けプロボノ・アカデミー3 連続講座第3回 オンラインミーティング	1名
3月10日(水)	茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会@農協ビル	中止
3月17日(火)	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度大和市市民活動推進補助金公開プレゼンは中止となり応募資料と質問回答にて採点	1名

エ. 若年層やシニア層をはじめ市民の市民活動への参画の促進

(ア)「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいを対象にボランティアきっかけ作りのプログラムを実施。(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催で、新たな参加者を発掘し活動への関心を広めている。受入先は高齢者・障がい者・子ども福祉、子育て・保育、環境保全、地域安全、動物愛護、海外支援などにかかわる20団体。ボランティア体験から社会の一員としての意識と、参加者個人の成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育むことも目的としている。

開催日	概要	参加人数
7月12日(金)	オリエンテーション 場所:さがみ農協5階 大会議室 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	120名
7月13日(土)		

7月14日(日)～17日(水)	個別オリエンテーション 場所:サポセン、社会福祉協議会	23名
7月20日(土)～9月14日(土)	ボランティア体験期間(2日以上の体験)	143名
8月23日(金)	カフェ de ボランティア 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター	47名

(イ)「地域ボランティアエアポート」

・高校生のボランティア活動を支援する拠点としての役割を果たした。年間を通してボランティアの仲介・主催事業での受け入れをした。

・茅ヶ崎高校ボランティア同好会・茅ヶ崎西浜高校 JRC 部は毎月1回、およびサポセン主催事業でも受け入れ。ユースボランティアオリエンテーションでは、鶴嶺高校 JRC 部も受け入れた。また、ボランティア塾後に体験を希望した鶴嶺高校生にも仲介を行った。

・県にボランティア情報をメールにて情報提供した(6月)

第10回かながわ子ども・子育て支援月間(県民局次世代育成部)に8月の支援月間中の関連企画情報を送付。

開催日	概要	参加人数
月1回	茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部、部活動の一環としてボランティア受入:ユースボランティアオリエンテーション準備・受付～片付け・カフェ de ボランティア準備・受付～片付け/こどたんスタンプラリーの景品準備 手話習得者がゲストとなり、手話の基礎体験 ボランティア塾 in 鶴嶺高校の DVD により、ボランティアについて学びを提供(4/22、5/29、6/26、10/28、11/13、12/11、1/22、2/26、)	9名
主催事業時	ユースボランティアオリエンテーション(7/12、7/13)の準備・受付～片付け: 茅ヶ崎高校ボランティア同好会・茅ヶ崎西浜高校 JRC 部・鶴嶺高校 JRC 部 ユースボランティアカフェ de ボランティア(8/23)の準備・受付～片付け、市民まつり(11/3)のおもちゃづくりサポート:茅ヶ崎高校ボランティア同好会・茅ヶ崎西浜高校 JRC 部	14名 9名
随時	・高校生と団体・施設とのボランティア仲介 ・ボランティア塾 in 鶴嶺高校終了後、ボランティア希望生徒に5団体仲介	7件 3名

(ウ)「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」の実施

課題を知り、自主的に活動を行う人から話を聞くことで、ボランティアや市民活動について理解をする。活動している人の声を直に聞き、社会課題などを自分のこととして捉えることができるようになる。生徒がボランティアや進路についてじっくり考える貴重な機会となった。

開催日	概要	参加人数
10月24日(木)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」1年生探究の授業(講師派遣、仲介) ① 全体学習(同校体育館)。福祉と美容の面から人々をサポートし、各地でバリアフリーファッションショーなどのイベントを企画・開催している廣田純也氏より、ボランティア活動および人生について、自分と向き合うことの大切さを講演。 ② 分科会(同校各教室等)。生徒が希望団体の講義・ワークショップを体験。各団体は活動への思いを伝えた。(市民活動団体15団体)	400名

(エ) 学生インターン・ボランティアの受入

市民活動を担う若年層の育成のため学生ボランティアの受入れを実施(前項(イ)を除く)。

- ・ユースボランティア:茅ヶ崎高校 1 年 2 名:イベント補助(7/20、27、8/25)
第一中学校 3 年 1 名(8/12、20、22) 第一中学校 1 年 1 名:(8/3、4)
松浪中学3年1名(7/29) 浜須賀中学 2 年 1 名(7/29) 法政大学 1 年 1 名(8/24)
- ・第一中学校 3 年 1 名:ユースボランティア準備・片付け・スタッフ補助(4/30、6/11、8/3、20、25、11/17)
- ・茅ヶ崎高校 3 年 1 名:こどたん準備(12/6、1/10、21、31、2/14)
- ・茅ヶ崎西浜高校 3 年 1 名:こどたん準備(12/6、1/10、21、31、2/14)

(オ) 生涯現役応援窓口との連携

- ・シニアが参加できる市民活動のイベントや講座のチラシを定期的に届けた。
- ・活動を希望するシニアと受入側のニーズ、課題等について、特に生きがい担当のセカンドライフコンシェルジュと情報交換を行った。(4 月、8 月、9 月、10 月、1 月)
- ・NPO 派遣研修中の県職員や市職員を案内し、シニアの活動の現状と行政の役割について意見交換した。

(カ) 市民活動交流カフェ(よるカフェ・市民立太陽光発電所れんこちゃん 1 号 10 周年記念イベント)の実施

人が出合い、つながり、何かが生まれ、市民活動を始めるきっかけづくりや仲間づくりの場としての「市民活動交流カフェ」。今年度は団体持ち込み企画として恒例となった iPad 講座と防災カフェを実施したほか、サポートセンターで稼働中の市民立太陽光発電所「れんこちゃん 1 号」の誕生 10 周年を記念して、エネルギーをはじめ、持続可能な社会にするために、様々な関連イベントを企画した。シニアから子どもまで幅広い年代の参加者がエコ等について楽しく考え、実践につなげる機会を提供した。

開催日	概要	参加人数
5 月 22 日(水)	だれでも使える！かんたん iPad 講座 2019 (第 24 回よるカフェ 団体企画) iPad 活用で困っている初心者の方を対象に基礎から応用まで楽しく学べる講座 講師:安岡伸さん(認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット理事)	22 名
7 月 6 日(土)	市民立太陽光発電所『れんこちゃん 1 号』10 周年記念事業 ～市民がつくる、持続可能な未来のエネルギー～ 講師:木下暁子さん(ネクストエナジー・アンド・リソース(株)事業推進室担当課長) トーク:上野ひろみさん(NPO 法人 ちがさき自然エネルギーネットワーク 代表理事) 益永 律子(認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき 代表理事)	35 名
8 月 25 日(日)	みんなでソーラークッキングを楽しもう！ 講師:西川豊子さん(ソーラーハウスにしかわ代表、ネパール教育支援の会 NESAs 茅ヶ崎事務所代表)	20 名
9 月 8 日(日)	【台風 15 号接近のため開催中止】 たいけん！ はっけん！茅ヶ崎南北縦断 エコバスツアー 茅ヶ崎の海と里山を体感。 ヘッドランドビーチでビーチクリーン「ウキブイ大作戦」参加、 湘南やぎの里にてランチ、里山散策、「茅ヶ崎の自然と暮らし」についてレクチャー	—

11月23日(土)	<p>「独立型 My 発電所 組み立てワークショップ」 ～市民がつくる、持続可能な未来のエネルギーpart2～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組み立てワークショップ ・ワークショップ見学 <p>講師:古峰聖治さん(認定NPO法人太陽光発電所ネットワーク神奈川地域交流会) 主催:NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワーク、認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき</p>	6名 7名
12月7日(土)	<p>カンボジアえんぴつ寄付 報告会&交流会</p> <p>7月～9月エコ月間に実施したえんぴつ回収とカンボジア教育支援についてのお話 ゲスト:石子貴久さん(一般社団法人ホワイトベース代表)</p>	19名
3月8日(日)	<p>【新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催中止】 防災カフェ茅ヶ崎 2020「台風19号、そのとき茅ヶ崎は？ 風水害から身を守るには！」(第25回よるカフェ 団体企画)</p> <p>自分を守る、大切な人たちを守るために、今からできること 2019年は台風19号をはじめ雨風により甚大な被害をもらす自然災害が多かった。 日頃から防災対策をしておくことで被害をできるだけ少なくすることができるとし、「今 できることを準備」し、「いざという時にやるべきことをイメージ」するための講座を企画 講師・ファシリテーター:内野養生さん(防災スイッチオン！プロジェクト代表)、益田 貴正さん(茅ヶ崎市職員)、石井大貴さん(文教大学国際学部3年)</p>	—

(4) 様々な活動主体との連携に関する業務

ア. 地縁団体(自治会等)との連携に関する業務

(ア) 市民自治推進課地域担当との情報交換会

8月28日(水)	<p>「茅ヶ崎市認定コミュニティの認定等に関する条例に基づくコミュニティの認定状況」や茅ヶ崎市民活動サポートセンターの業務について市民自治推進課職員と茅ヶ崎市民活動サポートセンター職員が意見交換をおこなった。</p> <p>今後、市民活動団体や地縁団体の連携等に向けて情報の交換ができた。</p>
----------	--

(イ) 「イザ！カエルキャラバン！」実施の後方支援(連携に向けた事業実施)

2012年に茅ヶ崎で初めてサポートセンターの事業として開催後、市内の自治会・子ども会・推進協議会など地域の防災訓練として実施の後方支援をしてきた。今年度はジオ茅ヶ崎フレシアに出向いて説明会と当日の支援を行った。さらに備品貸出で後方支援をした。

開催日	概要	備考
10月6日(日)	湘南地区まちぢから協議会 場所:柳島小学校	備品貸出
11月24日(日)	中島自治会防災会 場所:中島自治会館	備品貸出
2月15日(土)	ジオ茅ヶ崎フレシア管理組合 場所:ジオ茅ヶ崎フレシア 2/1(土)理事会にて「イザ！カエルキャラバン」の説明 2/15(日)当日の防災ゲーム支援と備品貸出	15名
3月22日(日)	ミナシア春まつり 場所:ミナシア集会所 備品貸出の予約があったが新型コロナウイルス感染予防対策のため中止	-

イ. 様々な主体との(企業、大学、公益法人等)連携に関する業務

(ア) 文教大学との定期連絡会

- ・文教大学湘南キャンパス国際学部ボランティア委員会との情報交換を定期的を実施。
- ・市民活動団体からのボランティア募集情報や、大学生が参加できるイベント情報を提供し、団体と大学生の活動を支援。(4/3、4/23、6/25、9/17、1/15 の日程で5回実施)
- ・「特別講義 G サービスラーニング」授業への協力では、昨年に引き続き学生の受入先となる団体を紹介し、団体と大学側の打合せの機会を提供した。後期授業開始時には(認定特非)NPO サポートちがさき代表理事が講義を実施。今回は県立茅ヶ崎里山公園(里山公園倶楽部)、湘南やぎの里、サポセンが学生を受け入れた。

その他文教大学との連携事業

開催日	概要	参加人数
4月23日(火)	ボランティアだらけの大交流祭@文教大学	55名
9月18日(水)	文教大学特別講義 G にて講義	3名
1月21日(月)	サービスラーニング報告会@文教大学	11名

(イ)「ボランティア大学講座」への協力

6月13日(木)	ボランティア大学講座 「市民活動とサポセンの紹介」 場所:さがみ農協ビル5階大会議室 共催:茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎 市社会福祉協議会	福祉領域のボランティア活動 初心者	45名
----------	---	----------------------	-----

(ウ)「ちがさき健康づくり講座」への協力

11月12日(火)	ちがさき健康づくり講座 「市民活動について」	食生活改善推進員養成講座 受講生	30名
-----------	---------------------------	---------------------	-----

(エ)研修受入れ

10月8日(火) ～11日(金)、 11月11日(月)	NPO活動体験派遣研修(5日間)	神奈川県健康医療局保健医療 部がん・疾病対策課	1名
-----------------------------------	------------------	----------------------------	----

(5) 市民活動を推進する市の施策等の充実に関する業務

ア. 「協働」カフェの実施(協働推進事業の周知啓発)

カフェ形式のイベントは実施せず、行政との協働に取り組みたいと考える市民活動団体向けに、次期総合計画の策定に向けた市の取り組みや将来的な行政運営の考え方などを学ぶ講座を開催した。

開催日	概要	参加人数
8月6日(火)	市民まなび講座「茅ヶ崎市総合計画の概要」 講師:企画経営課職員 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	23名

イ.「市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会」の実施

市民活動団体等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、協働推進事業実施への可能性を中心に、協力し合うことができる接点やそれぞれの立場でできることについて話し合った。

テーマごとに NPO 法人 NPO サポートちがさきスタッフと市民自治推進課職員がコーディネーターを務めた。

【参加】市民活動団体等:13 団体 行政:のべ 17 市担当課

日	テーマ	市民活動団体等	行政担当課
9月5日 (木)	未来カルテを活用した環境・経済・社会の課題検討	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	企画経営課
9月9日 (月)	「ちがさき子ども展覧会」の開催	NPO 法人赤ちゃんからの アートフレンドシップ協会	文化生涯学習課
9月10日 (火)	ITリテラシーのあるシニア世代の就労支援	NPO 法人 セカンドワーク協会	企画経営課
9月11日 (水)	保護者や子ども達へ就学前の環境の提供について	ミナスタ	保育課
	歴史文化交流館資料の ICT 活用	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	社会教育課
	地域の大人の教育力を発見し、子ども達の未来への意欲を育てることは可能か	キーパーソン 21 湘南	香川公民館
	災害時発生時の対応について(災害時避難体験)	ソーラーハウスにしかわ	防災対策課
9月12日 (木)	子育て関連事業(プログラミング・英語教室)、映画を活用したシティプロモーション(通りをテーマにした短編映画)	NPO 法人湘南スタイル	文化生涯学習課 社会教育課
	市民が地域のことを伝承するためのお手伝い	湘南えぼし座	社会教育課 うみかぜテラス
9月12日 (木)	青少年期におけるスポーツ現場(部活動)での怪我について	一般社団法人アステム 湘南スポーツソサエティ	スポーツ推進課 学校教育指導課
9月18日 (水)	市内有休農地を活用したコミュニティ型市民農園	NPO 法人湘南スタイル	農業水産課
9月20日 (金)	生育環境に大きな困難を抱える子供たちの居場所づくり(主に放課後)	株式会社未来へ(キッズおりぶの木茅ヶ崎)	子育て支援課
9月25日 (水)	茅ヶ崎市の公有地等のヤギによる除草事業の可能性について	一般社団法人 湘南やぎの里	下水道河川管理課 道路管理課

ウ. 協働推進事業の実施、提案等を行う団体の支援

令和元年度実施団体や担当課に対しては、事業の進め方や広報活動に関する相談に随時応じた。また、市が主催する下記のイベントに参加した。

開催日	概要
5月25日(土)	平成30年度実施 市民活動げんき基金補助事業・協働推進事業 実施報告会 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室

エ. 市民活動げんき基金補助事業の実施、提案等を行う団体の支援

令和元年度事業の実施団体に対しては、昨年度市民自治推進課とともに作成した「進め方の手引き」を基に、事業の進め方や広報活動、報告書作成等に関する説明会を行い、実施にあたっては随時相談に応じた。

令和2年度実施事業への申請希望団体に対しては、市民自治推進課と協働で作成した「活用事例集」も活用しながら、市から制度説明、サポセンから事業計画書作成ポイントについての説明を行い、その後は個別に、対面やメール等を通して申請書の書き方や予算の立て方等アドバイスを行った。「伝わる！企画書作成会」で、参加団体の自己紹介も行ったことから団体同士の面識ができ、申請事業において協力して実施することにつながった。

開催日	概要	参加団体
4月19日(金)、 22日(月)	平成31年度実施市民活動げんき基金補助事業 進め方説明会 採択事業を実施するにあたって、費用項目や領収書の書き方など注意事項について市民自治推進課より説明、サポセンから広報などのアドバイス。 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階ほか	11団体
11月14日(木)、 28日(木)、12月 5日(木)、11日 (水)	令和2年度実施市民活動げんき基金補助事業 伝わる！企画書作成会 企画書・申請書類の書き方を中心に、市民活動げんき基金の仕組み、公開プレゼンテーションの進め方などを説明。 場所:ちがさき市民活動サポートセンター	16団体
2月25日(火)～ 27日(木)、3月2 日(月)～4日 (水)、31日(火)	令和元年度実施市民活動げんき基金補助事業 報告書作成会 事業の実施報告書内容の書き方アドバイスや収支決算書の確認。 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階	11団体

その他、制度に対する理解を深め、よりの確な支援を行うため、市が主催する下記のイベントに積極的に参加した。

開催日	概要
5月25日(土)	平成30年度実施 市民活動げんき基金補助事業・協働推進事業 実施報告会 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室
3月21日(土)	令和2年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開ヒアリング/プレゼンテーション 場所:茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室

オ. げんき基金の周知啓発に関する業務、増額を図るための取り組み

げんき基金については、市民まつりや窓口カウンターなど、様々な場面でPRと募金活動を行った。

募金箱設置の際は、サポセンで収穫したラベンダーやゴーヤ、利用者からの花苗、NPO や企業から寄贈を受けた消耗品や事務用品などの提供品を返礼品とした。

カ. 市職員への研修講座の実施、研修受入

4月9日(火)	新採用職員研修(前期)講座 「行政とNPOとの協働」	茅ヶ崎市職員	46名
---------	-------------------------------	--------	-----

10月4日(金)	新採用職員研修(前期②)講座 「行政とNPOとの協働」	茅ヶ崎市職員	16名
12月16日(月)、17日(火)、 19日(木)、23日(月)	NPO 派遣研修(4日間)	茅ヶ崎市保健所地域保健課職員	1名
1月17日(金)、20日(月)、 21日(火)、29日(水)	NPO 派遣研修(4日間)	茅ヶ崎市保健所地域保健課職員	1名

キ. 茅ヶ崎市市民活動推進委員会

- ・令和元年6月13日から2年間の任期で委嘱を受け、センター長が委員として出席した。
第3回:7月8日(月)、第5回:1月7日(火)、第6回:2月6日(木)、第7回:3月21日(土)、
第8回:3月24日(火) *第4回10月17日(木)は欠席
- ・第3回委員会終了後、新委員1名にサポセン館内を案内した。

(6) 市民活動の状況把握に関する業務

ア. 市民活動に関する情報収集及び提供に関する業務

(ア) 市民活動に関する図書を選定、購入及び管理

- ・図書コーナー(本棚)脇の「新着図書紹介・雑誌コーナー」を運営した。
- ・平成30年度新規購入図書:『農福連携の「里マチ」づくり』濱田健司著ほか15冊。
- ・定期購入雑誌:『ソトコト』(木鐸社)、『ガバナンス』(ぎょうせい)、『ウォロ』(大阪ボランティア協会)、『ビックイシュー』(ビックイシュージャパン)
- ・茅ヶ崎市立図書館の協力を得て、サポセンエコ月間期間中(7月~8月)に、「どこでも本ダナ」を実施。自然エネルギーや省エネ、エコ関連本22冊を館内にて展示した。

(イ) 市民活動団体、関係機関が発行する機関誌、市民活動に関する関係資料等の収集及び管理

- ・利用者が団体を知る資料として、機関紙やチラシなどをファイルした市民活動団体メモリーファイルを分野別に掲示した。個別メモリーファイルの無い団体については、分野ごとのまとめファイルとして、把握しやすいよう整理した。
- ・また関係資料についても閲覧できるようにカテゴリーごとに整理して掲示した。

イ. 市民活動の状況調査に関する業務

(ア) 市民活動支援関係機関へのヒアリング調査・提言作成

- ・目的:今後の市民活動団体への支援方策を探る目的で二つの関係機関へ調査を実施した。
- ・調査対象:市教育委員会社会教育課、市社会福祉協議会ボランティアセンター
- ・調査時期:6月5日(水)(市社会教育課)、11月11日(火)(市社会福祉協議会ボランティアセンター)
- ・調査方法:ヒアリング調査

(イ) 市民活動団体への活動状況調査及び分析

- ・市民活動団体データベース更新時に、市民活動団体への新たな支援方策をするため現状の把握と、団体の培ってきたノウハウや知恵を共有し、互いに学びあうことで市民活動全体のレベルアップを図ることを目的に、ガイドブック掲載団体へ情報発信・情報共有に関するアンケートを実施。
調査対象:ちがさき市民活動ガイドブック掲載団体(337団体)

実施時期：2019年4月下旬～6月下旬

回収率：189団体/337団体（56.1%）

- ・サポセン利用団体へ更なる支援充実を図ることを目的に、印刷・作業コーナーに関するアンケートを実施。

調査対象：サポセン来館利用者

実施時期：令和元年4月中旬～6月中旬

回答数：137件

(ウ)「ラベンダーカフェ(利用者懇談会)」の実施

今年度は実施しなかった。

(7)危機管理に関する業務

- ・防火管理、防災管理、建物管理などについて以下の内容を実施した。

実施日	内容	備考
4月13日(土)	緊急連絡網更新	-
4月18日(木)	AED バッテリー交換	
4月30日(火)	自主検査チェック	-
5月6日(木)	消防用設備等定期自主検査チェック	-
5月10日(火)	防災無線機マニュアル掲示	
5月21日(火)	大雨後の点検・見回り	-
6月22日(土)	普通救命講習会参加アンケート送付	-
7月9日(火)	消防用設備点検実施(平和防災㈱)	-
8月8日(火)	普通救命講習会参加者名簿提出(消防指導課)	-
8月21日(水)	普通救命講習会実施	14名
10月3日(木)	総合防災訓練マニュアル作成	-
10月10日(木)	台風19号対策フリースペース土嚢積み等	-
10月11日(金)	台風19号対策玄関土嚢積み等	-
10月12日(土)	台風19号対策臨時休館	-
10月13日(日)	台風19号対策土嚢片付け	-
11月4日(月)	消防総合訓練計画書作成	
11月8日(金)	消防総合訓練計画書を予防課に提出	
11月20日(水)	消防総合訓練実施	10名
11月25日(月)	施設建物維持点検実施	
11月29日(金)	暴力団排除及び不当要求行為等対策研修会参加	1名
12月4日(月)	消防総合訓練報告書提出(予防課)	
12月16日(月)	臨時休館チェックリスト作成・掲示。	-
1月24日(金)	消防用設備点検実施(平和防災㈱)	-
3月8日(日)	防災カフェ開催中止	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止関係

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として以下を行った。

実施日	内容	備考
1月31日(金)	アルコール消毒液をサポセン入口に設置	—
2月4日(火)	厚労省「新型コロナウイルス感染症対策ポスター」「手洗い協力のお願いポスター」、館内掲示	—
2月18日(火)～ 2月19日(水)	サポセン主催イベント、館内機器設備の利用につき、新型コロナウイルス感染症拡大への対応策検討	—
2月20日(木)～	入館者の手指アルコール消毒の徹底、貸出 PC・館内共用機器設備のアルコール消毒、トイレドアノブの次亜塩素酸ナトリウム希釈液消毒の徹底、啓発ポスター追加	—
3月2日(月)～ 3月31日(火)	サポセン、臨時休館	—
3月24日(火)～ 3月31日(火)	サポセン、4月開館に向け、新型コロナウイルス感染予防策含めた対応策の検討	—

(8)施設等の維持管理に関する業務

- ・建物付属設備については定期保守点検を行い、故障・不具合があった場合は速やかに修繕を行った。また四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。
- ・TVアンテナ撤去、床・パーテーションの補修(6月)、自動ドア修理、駐車場トラロープ張替(11月)、ブラインド修理(1月)
- ・7月1日より敷地内を全面禁煙とした。
- ・花壇と夏場の緑のカーテン、施設まわりの手入れに関しては、一年を通してサポセンボランティア「さくら草の会」の協力を得ている。植栽デザインから土づくり、植付、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が道行く人々の目を楽しませ、サポセンの顔として好評を得ている。夏にはラベンダーやゴーヤを利用者と分かち合い、今年度も募金43,588円を「げんき基金」に寄付した。

(9)経営管理に関する業務

年間事業報告書を作成した他、毎月、利用統計表、業務報告書、事業スケジュールの進捗状況一覧、利用者の声・問合せ・相談内容一覧を作成し、市民自治推進課に報告した。月初めに館内の利用状況をグラフにして掲示した。

(10)その他の業務

ア. 視察対応に関する業務

他市からの行政・議会等の視察に対する施設内外の案内及び説明。

7月8日(月)	サポセン見学	市民活動推進委員会委員	1名
8月15日(木)	サポセン館内案内、事業紹介	寒川町役場協働文化推進課、文教大学 インターン学生	2名
1月14日(火)	市民活動団体の現状、組織運営等 についてのヒアリング	一般財団法人非営利組織評価センター 事務局	1名

イ. 環境への配慮

- ・今年度は市民立太陽光発電所「れんこちゃん 1 号」設置から 10 年を記念し、年間通して各種イベントを実施した。
- ・7 月～9 月は「サポセンエコ月間」とし、キャノピースイッチによる不要な照明の消灯、古紙再利用やインクカートリッジのリサイクルなどの日常的な環境配慮に加え、利用者にもマイボトル持参やゴミの持ち帰りを呼びかけ、省エネ・省資源、ゴミの削減・リサイクルに関する啓発活動をさらに推進した。
- ・サポセンのエコな取り組みについて紹介記事を作成し、ホームページで紹介した。
- ・窓口前カウンター前にて、株式会社大塚商会(オフィス用品通販サイト「たのめーる」)や NPO 法人もったいないジャパンからのアウトレット事務用品や消耗品などの寄贈物品を利用者に提供。
- ・各家庭で使わなくなった「えんぴつ」の寄附を募り、カンボジアの小学校や児童施設への寄付活動をしている一般社団法人ホワイトベースに寄贈した。
- ・市民立太陽光発電所(れんこちゃん 1 号)については、NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークより定期的に使用電気量の報告を受け取った。今年度は、自家消費分等にあたる 120,561 円を同法人に支払った。
- ・12 月に、NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークにより蓄電池が設置され、夜間電力の削減や災害停電時の非常電源を確保できるようになった。

ウ. ふれジョブ活動の受入

支援の必要な子どもが職場体験をすることで自ら学ぶとともに、みなが共に助け合うことのできる社会を創る活動として、随時、学齢期の子どもたちの活動を受け入れた。受入れにあたっては「ふれジョブちがさき・さむかわ」の代表と密に打合せを行い、また団体の定例会にも出席し活動への理解を深めた。

月 日	所属 学年	人数
前年 12 月～6 月 1 日 毎週土曜日 10:00～11:00	茅ヶ崎市高校 2 年生男子	1 名
8 月 7 日、9 日(ミニふれ)	茅ヶ崎市小学 6 年生男子	1 名
12 月 3 日、17 日(ミニふれ)	寒川町中学 3 年生女子	1 名
2 月 2 日、16 日(ミニふれ)	寒川町中学 2 年生男子	1 名

エ. 企業の社会貢献活動の仲介

2013 年度より毎年クリスマスの時期に、明治ホールディングス(株)及び同社株主より、社会貢献活動の一環として明治グループの製品(お菓子)の寄贈の申し出があり、障がいのある子どもを対象にした活動や貧困問題に取り組む活動をしている団体への寄贈を仲介している。今年度は、障害児の親子サークル mana、認定 NPO 法人 Ocean's Love を推薦した。お菓子は、鶴が台みんなの居場所、茅ヶ崎市国際交流協会、国際結婚子育てサークル、Tom boy の子どもたちとも分かち合った。

オ. 自主事業の実施

協定書 第 13 条に基づき、管理運営業務以外の業務として下記の交流会を自らの費用と責任において企画、開催準備を行った。

「企業×NPO子ども支援交流会」新型コロナウイルス感染予防対策のため中止とした。(2月20日)

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの指定管理者(4期目)となり、センターの管理運営と合わせて法人の様々な事業をスタートさせた。

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぼちが連携事業

NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎(以下、「まちスポ」という。)と、当法人(さぼちが)からなる会議体「まちスポ×さぼちが連携会議」は3年目を迎え、会議目的が定まらず月次の開催はできなかった。

4月26日の会議では、生活支援体制整備事業として実施された「外出支援に関わるアンケート調査結果」より、湘南地区の外出の特性など、資料をもとに共有した。

(2) おでかけ支援

年度当初に県提案の「のりあい交通」負担金事業の中止が判明したが、菊名おでかけバスをモデルに地域の協力による運行は実現可能と判断し5月に地域準備会がスタートした。

8月～11月「茅ヶ崎市認定コミュニティ特定事業助成金」を受けて実施

湘南地区まちぢから協議会が地域の力で「おでかけワゴン」を進行するための調査研究及び走行に向けた地域説明会や自治会説明会が行われた。

11月～3月 神奈川県「共生社会仕組みづくり移動支援モデル事業」(以下、「モデル事業」という)

神奈川県、茅ヶ崎市、湘南地区まちぢから協議会、まちスポ、茅ヶ崎市社会福祉協議会と当法人の6者が協定書を締結して実施することになった。2月25日から「おでかけワゴン」のプレ運行が始まった。

複雑な事情を経た1年であったが、おでかけ支援事業準備会(15回)、おでかけワゴン実行委員会(9回)、モデル事業の関係市等打合せ(4回)に出席し、まちスポと連携して事務局機能を果たしながら湘南地区の住民による「おでかけワゴン」の自主運行をサポートした。また、社会福祉法人翔の会の車両の借用等を仲介し、国土交通大臣認定ドライバー研修などの担い手育成や勉強会の企画・運営を行った。

(3) コミュニティ・コンシェルジュ

「ジオ茅ヶ崎フレシア」におけるコミュニティ形成の支援として、クリスマスイベントに関する相談があり、企画立案、運営に協力した。次年度の取り組みについても、参考情報を提供した。

クリスマス会

日時 12月22日(日)10:00～11:30

場所 ジオ茅ヶ崎フレシア・エントランスホール

参加者 こども25名、おとな15名

講師 高橋源治氏(おはなしおじさん)、センタースタッフ1名

内容 絵本の読み聞かせ&CDコマ作り

(4) 余暇支援ネットワーク

茅ヶ崎・寒川地区で暮らしている障がいのある人の余暇活動を、地域で支援するネットワークメンバーとして会議に参加、障がいのあるなしにかかわらず、みんな一緒に音楽やショーを楽しむ恒例の音楽祭に協賛した。

「キラキラちゃんぶる音楽祭」

日時 10月19日(土)13:00～15:30

場所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業とNPOのマッチング

今年度は特に実施しなかった。

(2) 企業×NPO こども支援交流会

茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営に関する協定書 第13条に基づき、市民活動を支援する施設の管理運営以外の業務として「企業×NPO こども支援交流会」を自らの費用と責任において実施する予定であったが新型コロナウイルス感染予防対策のため中止とした。なお、この事業は、「神奈川ボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金」対称事業として、NPO法人神奈川子ども未来ファンドからの受託事業として取り組んだ。

企画、開催準備を行った内容は以下の通りである。

地域のこども支援活動団体とサポーター（子ども支援を支える企業・団体等）が子ども達の抱える困難や地域の子どもの支援活動の状況などを共有し地域でのつながりを深めることを目的に交流会を開催する予定であった。

・日 時:2月28日(金)

・場 所:茅ヶ崎市役所分庁舎コミュニティホール

・事例紹介 モトスミ・ブレーメン通り商店街、茅ヶ崎フードサルリーグ、NPO法人フードバンクひらつか、厚木市子育て支援センター

※コロナウイルス感染拡大予防のため中止

(3) 食から未来へ勉強会

高い知見を有した外部協力者を講師として勉強会を開催した。メンバー以外の参加も歓迎。NPOサポートちがさきからの情報発信に注力した。

これを機に、JAさがみを翔の会に紹介し、抗酸化作用の高い玉ねぎ外皮のピール化に向けた研究を始めた。

第1回勉強会 神奈川の特産品種の育成や農産加工実験室等

日 時 4月9日(火)14:00～16:00

場 所 神奈川県農業技術センター(平塚市)

講 師 吉田誠氏(農業生産部 課長)

参加者 17名(社会福祉法人翔の会、文教大学健康栄養学部 ATOM の会、さぼちが、NPO)

第2回勉強会 「地域に息づく発酵文化 続編 暑さをしのぐ」 麹について学ぶ

日 時 9月4日(水)15:00～16:30

場 所 麹や米の花(矢畑)

講 師 熊澤弘之氏(RIVENDEL/麹や米の花主宰)

参加者 7名

(4) 農福商等連携・ネットワーク事業

地域課題の解決に向けて、農業、福祉、商業等の連携に関心のある市民を対象に異業種交流会を開催し、アートを介した顔の見えるネットワークを広げた。

第4回 異業種楽習会

・日 時:10月10日(木)19:00～21:30

・場 所:翔の会研修センター(茅ヶ崎市元町3-13 元町魚静ビル1F)

・講師:関根幹司氏(株式会社愉快・studio cooca 代表)、藤川 悠氏(茅ヶ崎市美術館学芸員)

・参加者:23名

3. 市民活動に関する調査研究事業

今年度は実施しなかった。

4. 行政・他機関への委員会委嘱等の協力 [事務局]

派遣等

茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会 (年1回)
茅ヶ崎市行政改革推進委員会 (年1回)
社会福祉法人翔の会理事会 (年6回)
社会福祉法人翔の会運営会議 (年1回)
茅ヶ崎市民活動推進委員会 (年8回)
茅ヶ崎市総合計画審議会 (年5回)第6回会議は新型コロナウイルス感染の蔓延防止のため中止
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業 第1層協議体委員 (年2回)
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業第2層説明会・報告会 (年2回)
大和市市民活動推進補助金事業アドバイザー (年1回)

他セクターとの連携等

公益財団法人国際ソロプチミスト茅ヶ崎 フレンドシップパーティー「茅ヶ崎ゆかりのピアノ作品によるミニコンサート」6月20日(木)
NPO 法人湘南スタイル薫品孝久理事長退任記念祝賀会 6月21日(金)
茅ヶ崎商工会議所青年部「茅ヶ崎名物会議」～第5回茅ヶ崎の健康寿命と食～ 9月9日(月)
一般社団法人茅ヶ崎市観光協会 令和元年度 茅ヶ崎 DMO 事業 キックオフ 9月30日(月)
茅ヶ崎商工会議所賀詞交歓会 1月8日(水)
文教大学健康栄養学部笠岡ゼミ活動報告会 1月15日(水)
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所新年式典 1月20日(月)

後援・協賛等

ローカルファースト研究会第9回ローカルファーストシンポジウム 11月13日(水) 「ローカルファースト都市の挑戦～私たちは未来に何を創るか～」後援
余暇支援ネットワーク「キラキラちゃんぶる音楽祭」10月19日(土) 協賛
社会福祉法人翔の会「キャンドルナイト茅ヶ崎 2019」12月14日(土) キャンドルホルダーとして協賛

その他

(1)会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

6月、9月、12月、3月(3回発行)

会員やサポートセンターの職員からの寄稿により親睦を深めることができた。また、“さぼちが”の自主事業や認定NPO法人取得に向けた経過を報告し、情報共有を図った。

(2)仲間づくり部活動@RIVENDEL・全体会

志を同じくする人たちが、コミュニティ農園「RIVENDEL」を利用し、ごはん会を通し参加者相互の親睦を深めるための活動を行った。またリベンデルの会員向けのイベント「冬の恒例行事」に参加した。

日時	参加者	内容
6月6日(木) 12時～15時	10名	ごはん会 :お酒を飲みながら世間話に花が咲いた。社会ニュースなど マグロのお刺身(醤油麴で味わう)、ナスの挽肉詰め、ポークソテーのリンゴソース添え、大根と薩摩揚げの煮物、ポテサラ、ほうれん草の塩麴和えなど
9月25日(金) 12時～15時	10名	ごはん会 :お酒と美味しい料理を味わう。井戸端会議など。 お刺身の盛り合わせ、手羽元とネギのポン酢煮、キュウリとニラの浅漬、生ハムとトマトとモッツアレラチーズのサラダ、いぶりがっこのクリームチーズ付、笹寿司など
11月20日(火) 12時～15時	11名	ごはん会 :お酒と料理を味わう。今後についての座談会。 アヒージョ、里芋を使ったメニュー、タマネギとアゲのポン酢和え、柿のサラダ、伊達巻き、りんごきんとんなど
12月22日(日) 10時～12時	2名	リベンデル主催、冬の収穫物と恒例行事 しめ縄リースと鏡餅 当法人から2名参加した。粃殻焼き、焼き芋、お雑煮など

全体会

6月30日(日)今年度の事業を中心に意見交換

9月29日(日) さぼちがのこれから

3月18日(水) 役員選挙について

(3)情報発信・パンフレット作成

ホームページに法人の基本データの公開、毎年度の事業報告、会計報告、貸借対照表の掲載。

法人基本情報の更新をした。

「さぼちが」パンフレットのリニューアル(9/12、10/25、11/22、12/17、11/16、2/12)

2/28「企業×NPO子ども支援交流会」で配布できるよう3000部印刷

法人運営

1. 通常総会

2019年度通常総会

日時: 令和元年(2019年)5月15日(水) 16:00～17:00

会場: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

出席者数: 出席25名、委任状提出10名、合計35名(正会員総数49名、過半数が出席)

議事: 第1号議案 平成30年度(2018年度)事業報告の承認

第2号議案 平成30年度(2018年度)収支決算の承認

第3号議案 令和元年度(2019年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定

第4号議案 令和元年度(2019年度)収支予算の審議・決定

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2. 理事会

- 4月17日(水) 総会審議事項について
- 5月8日(水) 2018年度決算及び2019年度事業計画、予算書について
- 7月31日(水) 指定管理予算(案)について
- 10月9日(水) 非常勤職員の時給の変更、消費税率変更に伴う指定管理料の変更
- 12月5日(木) 共生社会仕組みづくり外出支援もデリ事業について
- 2月5日(水) 2020年役員選挙、「企業×NPO 子ども支援交流会」について
- 3月12日(木) 2020年度事業計画について

3. 運営会議

- 年間12回、毎月開催 参加者12名
- 事業の進捗、会計報告等サポートセンターの管理運営に関する事項および自主事業推進についての意見交換を行った。

4. 市民活動支援のための勉強会

市民活動の現状とその多様な姿、市民同士の連携や市民活動の支援のあり方について自由に意見交換する、講座と意見交換をおこなう勉強会を行った。

12月23日(月)「今後地域コミュニティはどうあったらいいのか—そのための仕組みとは」

市民が市民としての当事者制を持つ状態は十分に作り出せているか

参加者16名

会場 社会福祉法人翔の会 研修センター

以上